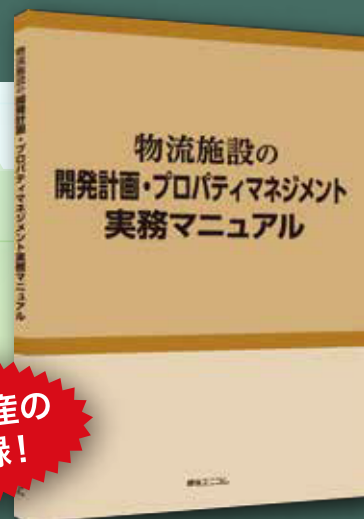


EC市場急拡大で安定収益を得る  
物流施設の事業化計画&PM実践本！

2019年8月29日発行

# 物流施設の開発計画・ プロパティマネジメント 実務マニュアル



競争優位な物流不動産の  
全容を体系的に収録！

共著  
武田啓志 デロイトトーマツPRS (株)執行役員部長  
古川武史 (株)JPM 代表取締役社長

◎定価74,000円+税◎A4判◎縦型◎110頁

物流不動産ビジネスとして収益拡大を目指すべく、  
開発計画のプロセスと事業収支モデルプランをはじめ、  
物流特有のPM業務ノウハウを網羅！

## 本書の特徴

特徴  
1

活発化する物流不動産の強いニーズを踏まえ、  
開発動向と今後の展望を掲載

特徴  
2

物流施設を不動産事業として捉えた際の、  
開発計画の流れと事業収支モデルプランを併載

特徴  
3

オーナーやAMサイドのニーズにマッチした、  
物流特有なPM業務のテクニックを徹底開示

特徴  
4

収益を維持・向上させるテナントリーシングの実務と、  
実例に基づく収益アップ策を一挙公開

## 本書の狙い

EC市場や3PL市場が拡大するなか、物流施設に対するロケーションや機能面でのニーズが変化してきており、それに伴い好立地・高効率な大型物流施設に対する需要が増加しています。ここ数年には新規物流拠点の開設をはじめ、既存物流施設の改修や統廃合など、大きな転換点を迎える予測されます。さらに施設間競争の激化が予想される一方で、賃料水準アップは期待できないことから、いかに投資コストを抑えた開発を行い、施設運営・管理、リーシング機能を強化していくかが物流不動産事業の重要なポイントになっています。

そこで本書では、物流施設の開発計画で施設タイプごとに特性を把握し、開発における構造や設計上の要点を体系的に整理。さらにはプロパティマネジメント実務、安定収益を実現するためのリーシング戦略(成功の条件)について、市場動向を踏まえながら事業推進上のスキルを開示します。

物流施設開発や投資を計画・実行する実務者や管理運営に携わる事業関係者をはじめ、金融・投資関係者など事業評価ノウハウを求める方のための実務資料として、関連事業者の皆様にご覧いただき購読をお勧めいたします。